



# オーダーしたお客様にとつての応援幕に

## 有限会社 関川さら文

### ◆創業昭和六十三年

### 手染めの技術

有限会社関川さら文 五十嵐 豊さんは株式会社さら文（東京都）で江戸染めの修行後、昭和六十三年鶴岡市関川で創業されました。

顔料染めという手法を使って一本一本手染めの幕を製作しています。幕も日除けも一本物であることが売りで、実際に品物を見ると質感の良さがわかります。手染めの一本物の幕には味があり、老舗の雰囲気を出すことが出来るというのも特徴です。首都圏を中心にビル用の大型広告幕を製作するほか、地元庄内では様々なお店の日除け暖簾や広告幕、神社ののぼり、学校の応援幕などの

注文を受けています。（※日除け暖簾・3万円〜）

東京での仕事を通してテレビ番組の制作会社から声がかかり、製作した暖簾や旗がテレビドラマやCMで使われたこともあったそうです。

「庄内でも映画がたくさん撮影されているので、せうちの技術を映画にも活用してもらいたいですね」と



一つ一つ丁寧に染めを施しています。

言う五十嵐さん。見た目が美しく持ち運びが楽、費用も抑えられる顔料染め。この良さを広めて様々な分野に売り込んでいきたいと話していました。

近年は、伝統工芸として高級なイメージのあるしな織にも染めを施し、手頃なお土産品として製作した「しな織のしおり」はたいへん好評です。



のどかな風景が広がる旧温海町関川地区。この大自然の中で、手染めの幕を製作されております。



（右）関川さら文 五十嵐豊さん、明美さんご夫婦

### ◆お客様のイメージを

### そのまま実現

関川さら文では、全て手作りのためオリジナルのデザインに染めることが可能です。お客様から依頼を受けてるとリアウツや色についてお客様と何度も話し合いながら完成させていくので、お客様のイメージ通りのものができます。

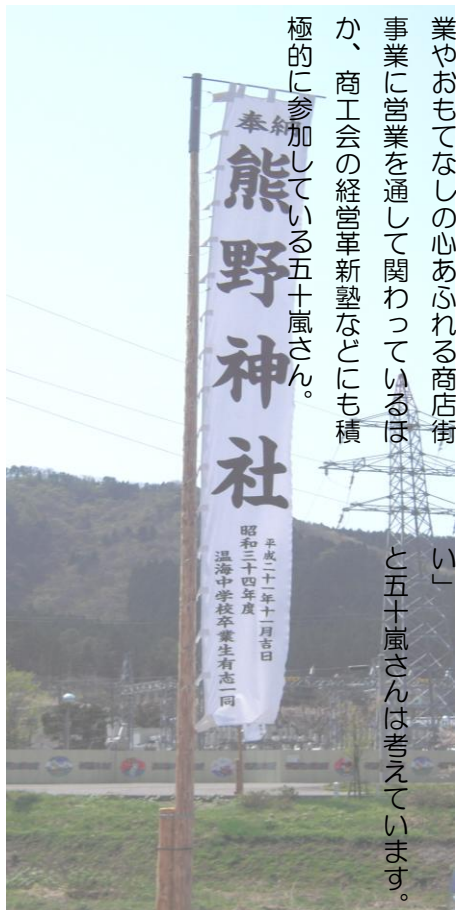
浦安のMONAのイラスト看板を手がけた時は「この辺りの美容院でもこういった広告幕を作ればきっと目立つはず」と思ったそうです。



浦安のMONAの店舗広告幕デザイン  
こんなにかわいいデザインも大型幕になります。

店舗用の広告幕など、少しの色の差で微妙な奥行きを出すことができますので、見た人の目をひく印象深いものを作ることができます。

今、あつみ温泉お店の顔づくりの事業やおもてなしの心あふれる商店街事業に営業を通して関わっているほか、商工会の経営革新塾などにも積極的に参加している五十嵐さん。



神社ののぼり製作にも力を入れています。

「学校の応援幕はもちろん、店名やお勧め品を染めた日除け暖簾はオーダーしたお客様にとつての応援幕。お客様から頼んで良かったと言っただけのようなものをつくりたい」と

五十嵐さんは考えています。



大和屋菓子舗（温海）の日除け暖簾  
お店のイメージにぴったりです。



庄内町 お食事処「和心」の暖簾は自信作のひとつです。  
庄内北部のお客様にも支持されています。

有限会社 関川さら文  
代表 五十嵐 豊

（所在地）〒999-7315

山形県鶴岡市関川 55 番地

（TEL） 0235-47-2469

（FAX） 0235-47-2520

（MAIL） hatamaku@poplar.ocn.ne.jp